

「DC エクセレントカンパニー表彰 2023」に選出

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、NPO 法人 確定拠出年金教育協会が主催する「第 12 回 日本 DC フォーラム」において、「DC エクセレントカンパニー表彰 2023（継続投資教育部門）」に選出されましたのでお知らせいたします。



NPO 法人 確定拠出年金教育協会は、企業の確定拠出年金（以下：DC）制度に関する調査活動やセミナーによる情報提供を通じ、継続投資教育をサポートしている団体です。

同協会は 2011 年より、DC の継続投資教育や制度運営が優れた企業などに対し「DC エクセレントカンパニー表彰」を行い、その取り組み内容を広く伝えています。当社は継続投資教育の課題設定や取り組み内容が評価され、「継続投資教育部門」に選出されました。

当社は 2005 年 10 月に DC 導入後、DC 法改正を踏まえ、継続投資教育に注力してきました。しかしながら、当社は他社と比較し、従業員の DC への関心度が低いことが課題でした。そこで 2020 年より、下記施策を実施しています。

■階層別研修で継続投資教育を実施

パネルディスカッション形式を採用することで、研修の充実を図りました。若手人事部員がパネリストとなり、受講者が疑問に感じられる点について、受講者視点で講師に質問するなど、理解を促進する工夫をしています。これにより、受講者は DC が自身のライフプランに重要な要素を担うものであると実感できるようになりました。特に関心度が低い若年層において、DC の関心度向上につながりました。

■周知活動の徹底

製造部門では、従業員は常時、製造ラインで業務に取り組んでいるため、社内メールやイントラネットを経由した情報展開では、対象者が限定的になります。結果、DCに関する情報が対象者に届いていない実態がありました。そこで人事・製造部門で共同して、工場勤務者には、職場上長から直接教育資料を配付することで、一人ひとりに必要な資料を届けることを徹底しました。

従業員一人ひとりが思い描くセカンドライフ実現に向け、お金に関する教育の機会を創出することは企業の責務であると考えています。従業員が豊かなセカンドライフを迎え、住友理工で働いてよかったと感じられるように、今後もDCの継続投資教育・制度運営の充実に取り組んでまいります。

<2023年度 DC エクセレントカンパニー表彰>

<https://home.dcnenkin.jp/awards-list/detail/post-6094/>

以 上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>